

平成二十二年 度 生長の家栄える会大阪教区・運動方策

大阪教区栄える会は本部方針の下、教区「自然と共に伸びる運動・世界大阪十二の誓願」を受けて、産業界も自然との共生、すなわち肉体人間至上主義を捨て、「神事を第一に、他事はあとにす」の秩序を保ち、「自他一体」の信仰を實踐する新時代に向け、日時計主義についてさらに学び、「与える」ことを喜びとする産業人を商都大阪に数多く輩出し、産業界をリードすべく、「世界大阪・大伝道黄金時代」の運動を力強く展開する。

栄える会運動五つのポイント

- ☆ 両総裁ご指導の講習会に総力を結集し、二年後の受講者目標を必ず達成する。
- ☆ 産業界に信仰心豊かな地球保全活動を通し、真理実践の啓蒙活動を実施する。
- ☆ 地元重視の第一線組織基盤の構築と魅力ある支部活動の活性と充実をはかる。
- ☆ 大阪練成会など信仰深化のあらゆる機会を通し新世紀を担う人材を育成する。
- ☆ 会員拡大（真理伝道）の自主目標を掲げ、あらゆる方策を駆使し達成する。

前記の目的を達成すべく、新人参加の魅力ある組織実現に向け、以下の行動方策を實踐し、「自然と共に伸びる質の高い運動」を展開する。

1. 平和のための伝道・生活実践と業務改革

- ① 会員は『日時計日記』の實踐を通して、職場や取引先全体の光明化をはかり、「世界大阪・躍進手帳」の活用と共に、明るく信仰を深めて円滑な運動を展開する。
- ② 「行第一年度」として、会員は会員祝福祈願祭を継続し、さらにブロックや支部の拠点において毎週神想観の集いを開催し聖典心読、聖經千巻読誦、を通し、信仰の力倍増をはかる。特に今年には新バージョン『四無量心を行ずる神想観』実修により、喜徳・捨徳の愛を行じる信仰生活をもって伝道・愛行実践としての使命を果たす。
- ③ 会員は引き続き「炭素ゼロ」運動をベースに、自然から奪わない生活を実践する人々を増やすべく、職場や会社にて勉強する機会を設け、真理を職場、取引先に宣布する。

- ・ 太陽光発電・小型風力発電設置、及びLED照明など新たな省エネ技術導入。
- ・ ISO一四〇〇一取得、エコマネージメントシステムの導入。
- ・ 命の輝きの森など植樹・植林・育林活動に積極的に取り組む。
- ・ 電気自動車・ハイブリッド車、低炭素車の導入および公共機関の利用。

・「グリーン募金」や「救援募金」に意欲的に取り組む。

2. 地域に根ざした第一線の組織活動の充実

- ① 愛の訪問ロータリー運動〔第一種、第二種〕をブロック内において意欲的に実施し、人と人・支部幹部同士の絆を深め、熱意ある会員としての自覚の深化をはかる。
- ② 講習会参加促進は二年スパン運動の集大成であり、地域に根ざした運動の成果であります。前回を上回る大講習会目標、会員拡大目標を自主的に支部役員会にて決定し、訪問などを重ねることにより、支部会員の使命意識の向上をはかり、目標を達成する。
- ③ 今年度より、会社経営者に職場・職域支部の設立を呼び掛け、会員拡大、支部活性化を即す十全な展開を期す。
- ④ 栄える会諸行事の案内や講演会の記録等、ホームページやITを活用し、炭素ゼロにむけた情報提供や会員からのアクセスを通し意思疎通をはかる。
- ⑤ 地元重視の運動を展開すべく、ブロックごとに企画・運営・実践の組織基盤を新たに構築し、ブロック幹部会を数回地元で開催し、そこに多くの支部幹部が集まり、互助研鑽の土壌の中、運動の喜び感得を繰り返し、魅力ある支部活動を展開する。
- ⑥ 支部は地域社会への奉仕活動、(清掃奉仕、森林の育成、アルミ缶回収など資源回収)を計画的に継続して行い、会員は自治体役員など進んで引き受け、地域発展のために貢献する。
- ⑦ 教区繁栄ゼミナールや合同支部例会は新人参加者数の目標をもって推し進め、参加された多くの産業人を引き続き支部例会へとお誘いし、きめ細やかなフォローを行い、栄える会の同志へと導く。
- ⑧ 魅力的な地域光明化の拠点を確立するため、毎月開催の支部例会は初めての方が気楽に来て、何でも相談できる開かれた雰囲気づくりの為に、総裁谷口雅宣先生のブログ、栄える会ウェブサイトを、SNSサイト・ポスティングジョイを活用するなどして創意工夫をはかる。
- ⑨ 教区栄える会は「愛の共同体」意識を深め、各支部において相・白・青各組織との交流を積極的にはかり、家族が参加できる「家族誌友会」を年二回開催し、生長の家の家族を増やすと共に、栄える会会員を相・白・青各組織会員化へ進める。

3. 新世紀を担う人材育成

- ① 「大阪練成会」の参加促進計画を作成し（支部役員は年二回以上必ず参加）一般会員、新人を誘い、発心・修行・救済の実をあげ、有能な人材を多数輩出すると共に、伝道の使命感の高揚、行動化へのエネルギー点火の場として活用する。
- ② 地元組織にて新しく多くの人材をブロック幹部、支部幹部として登用し、アイデア溢れる企画立案を実践し、自覚をもった幹部人材の育成と信仰のリフレッシュをはかる。
- ③ 教区栄える会、支部は青少年の育成に積極的に取り組み、「青少年練成会」「生命学園」等に会員及び知人の子女を参加させる。

《本部主催行事》

生長の家相愛会・栄える会合同全国幹部研鑽会 五月二日（宇治別格本山）

《本部主催の会議》

栄える会ブロック会議（近畿ブロック） 七月三日・十一月六日

《本部が企画・指導する教区主催行事》

栄える会繁栄ゼミナール 十一月七日

《教区が主催する行事》

大阪教区栄える会総会、臨時総会 五月三十日・九月八日

《支部行事》

支部例会 支部役員会

毎月開催

合同支部例会 ブロック役員会 早朝行事

「与えよ、さらば与えられん」。これは単に物を与えるだけではなく
「放ち去る心」を行じなのだ。捨徳を行じなのだ。自分の立場や執着
を放ち去り、神意にしたがい、真理を行じると、神の国の栄光が与え
られるに違いない。